

第2講 シンポジウム 足立区のイメージと情報

足立区はどのようにイメージされ、地域メディアはどのように情報発信しているか。
区民の暮らしの向上のために、区内外のイメージアップの方策を模索する。

基調報告

ジャーナリスト 昼間たかし氏 昭和50年(1975)岡山県岡山市に生まれる。立正大学文学部史学科卒。遺跡調査員などを経て、株式会社マイクロマガジン社記者。諸雑誌で、著述家、ルポライターとして活動中。現在、東京大学大学院情報学環教育部研究生。

編著書『日本の特別地域①東京都足立区』(2007、マイクロマガジン社)。

共同企画『これでいいのか足立区葛飾区江戸川区』(2009、マイクロマガジン社)

- 1、 足立区を表象するキーワード ・貧困 ・高い犯罪率 ・ヤンキー
- 2、 本当に「貧困」にあふれているか
- 3、 「高い犯罪率」の中身
- 4、 「ヤンキー」文化の存在
- 5、 流入する「新住民」の状況
- 6、 イメージアップ、解決策の提案

パネリスト

足立区広報課課長 中村敏夫氏

中央大学法学部法律学科卒。昭和53年足立区役所入区。福祉事務所長、住区推進課長、学務課長、報道担当副参事を歴任し現職。区政情報の発信と双方向コミュニケーションに係る「あだち広報」「区公式ホームページ」「映像広報」等を所管。

公社ニュース「ときめき」編集長 竹内吉晴氏 昭和22年(1947)荒川区町屋生まれ。荒川区立小、文京区立中、都立高、大学を経て、昭和46年(1971)東京タイムズ社入社、販売局、編集局社会部、文化部、編集局他各部取締役歴任。平成4年会社解散。平成5年第3セクター(株)足立都市活性化センター特別職「公社ニュースときめき」編集担当勤務。平成17年編集プロダクション「有限会社竹内企画」設立代表取締役。「公社ニュースときめき」編集、ホームページ作成従事。足立区東綾瀬在住。

ケーブルテレビ足立 プロデューサー 折田康男氏 学校卒業後、テレビ制作会社入社。アシスタントを経てテレビカメラマンとしてドラマ等の制作現場に携わる。平成3年すみだケーブルテレビ(現 JCOM 東京すみだ局)開局スタッフとして入社。地域情報チャンネル(コミュニティチャンネル)の立ち上げを経験。平成8年ケーブルテレビ足立入社、再び地域情報チャンネル立ち上げ。現在、技術放送部放送制作担当課長。

足立よみうり新聞編集長 中川美知子氏 メッセージ参加。別紙。

足立朝日記者 市川和美氏 桜井昌代デスク退社により会場参加予定。

